

金武町就活支援センター

1 委託業務名

金武町就活支援センター「雇用システム・Web環境」導入業務委託

2 業務概要（共通）

- ①CMS・システム・サーバ環境の導入構築、設定
- ②雇用システム・ホームページの構造・運用設計及びデザイン制作
- ③アクセシビリティへの対応
- ④メールサーバ構築・メールアカウント作成
- ⑤操作運用マニュアルの提供
- ⑥操作研修
- ⑦保守・運用支援
- ⑧その他、有益な独自提案

3 納品日（共通）

- ・導入完了期限：令和9年2月26日まで（契約期限：令和9年3月31日まで）
- ・各フェイズ（設計・構築・テスト・稼働）

《雇用システム》

(1) 基本要件

- ① 高い安全性と信頼性を有し、維持管理が容易であること。
- ② コンピュータに関する専門知識を有しない一般利用者でも比較的簡単に操作できるように画面構成が配慮され、統一性のとれた操作が確保されていること。
- ③ 外部クラウドサーバで、サーバOS、ソフト等を安全稼働させること。
- ④ 事故等による障害の復旧が確実に短期間で行えるよう対策を講じていること。
- ⑤ 将来的な拡張性の確保及び柔軟性の高いこと。

(2) 機能要件

- ① アクセス権限機能（雇用システムPC）
 - ・雇用支援担当者以外への更新及び閲覧を禁止する為の機能（ID、パスワード）を有すること、またセキュリティ対策を考慮して接続可能とする。
 - ・パソコンから、ブラウザのみでアクセス利用可能で専用ソフトウェアのインストールが不要なシステムとする。
- ② 企業機能
 - ・企業の基本情報（企業名、企業アカウント(ID/PW)、事業内容、連絡先等）の登録・更新ができること。また、登録情報を検索し参照できること。

③ 求職者機能

- ・求職者の基本情報（氏名、求職者アカウント(ID/PW)作成、住所、連絡先、資格等）の登録・更新ができること。また、登録情報を検索し参照できること。
- ・就労状態（就労中、未就労）やこれまでの活動履歴（紹介履歴等）が参照できること。

④ 情報配信

- ・登録された求人票をホームページ上で自動公開。

⑤ 受付機能

- ・受付申請については、ホームページからでも可能なこと。
また、申請を受付けた情報は職員確認後、公開するために承認機能を有すること。

⑥ 統計情報

- ・登録された求職者及び企業の情報や件数（人数）など、統計情報の帳票出力及びCSV出力できること。

⑦ 仕様変更

- ・業種区分、西暦等を管理者で変更できる機能であること。

⑧ バックアップ

- ・障害時の早期回復のため、1日に1回バックアップ。また、バックアップ保管を3か月間できるシステムとすること。

⑨ 個人情報取り扱い

- ・個人情報保護法に準拠し、通信・保存時の暗号化および適切なデータ破棄・漏えい対応体制を構築すること

《ホームページ・メールサーバ》

(1) 基本要件

- ① 本センターの利用方法・イベント等を町内外へ効率的に配信できるホームページであること。
- ② 利用者が必要とする情報に簡単にたどりつき、より多くの情報を提供できるホームページであること。
- ③ 利用者がセンターのサービスをより身近に利用できる機能を有するホームページであること。
- ④ 職員の誰もが簡単に情報を掲載でき、統一されたデザインのホームページ更新ができること。
- ⑤ 将来的な拡張性の確保及び柔軟性の高いホームページであること。
- ⑥ 高い安全性と信頼性を有し、維持管理が容易であること。
- ⑦ 外部クラウドサーバで、サーバOS、ソフト等を安全稼働させること。
- ⑧ 現ドメイン(rikarika.jp)を使用すること。

(2) 機能要件

① 管理者利用機能

- ・アクセス権限機能：管理者以外への更新及び閲覧を禁止するための機能（ID/PW）を有すること。
- ・情報更新が容易であること。

② 一般利用機能

- ・登録、検索、閲覧、問合せがスムーズに行えること。

③ 関連サイト

- ・関連サイトは、複数貼り付けすること。（リンク表示）

④ バックアップ

- ・障害時の早期回復のため、1日に1回バックアップ。また、バックアップ保管を3か月間できるシステムとすること。

⑤ セキュリティ

- ・二段階認証導入（SSL証明書あり）

(3) デザイン

現行ホームページの課題を分析し、最適と考えるデザインを提案すること。構築時に詳細ページのデザイン案を作成すること。

- ① ホームページの全体構成、掲載項目の整理、利用者のアクセシビリティ・ユーザビリティ等を考慮すること。
- ② 新規お知らせや必要性が高い情報（企業・求職者登録等）を目立つように配置・表示すること。
- ③ レスポンシブデザインとし、単一ファイル作成でパソコン、スマートフォンやタブレット端末等異なるデバイスに対して、表示内容が最適な状態に変化すること。
- ④ 作成したデザインに基づく、コンテンツ作成・編集等を行うためのテンプレート設計、開発を行うこと。

(4) メールアカウント作成

- ① 代表アカウントおよび職員数のメールアカウントの作成（最大5つ）

4 操作研修

- ① システム管理者向けに操作マニュアルの提供および研修を実施すること。

5 導入環境

- ①作成したシステム・ホームページを外部クラウドサーバに導入
- ②クラウド側のセキュリティ対策を行えていること
- ③国内クラウドサーバを使用すること

※セキュリティ対策は、別紙1の調達品目及び要件を参照の上、最適と考える環境を整えること

6 運用サポート・保守要件（共通）

- ①漏えいや改ざん等の不正アクセスが生じないように、運用開始後必要の都度、協議を行ったうえで対策を実施すること。
- ②障害が発生した場合は、速やかに原因を調査し、協議を行ったうえで復旧作業を実施すること。
- ③システムに係る管理者向けのマニュアル・利用者向けマニュアルを電子ファイルで納入すること。（マニュアルには、サポート体制記載）
- ④システム稼動時は正常な動作確認ができるまで、納入場所で直接対応すること。
- ⑤運用の中で生じた要望、不具合報告等を書面を取り交わし、迅速かつ適切な対応をとり、書面にて完了報告書を提出すること。
- ⑥システムアップデート・脆弱性等に気づいた場合は、協議の上で対応を行う。
- ⑦平日の 9:00～17:00 の間の障害受付及び保守サポート対応を行うこと。
- ⑧保守業務等については、窓口を一本化すること。
- ⑨不具合・故障・修理等は迅速に対応すること。
- ⑩機器等の故障によってセンターの業務に支障を生ずるおそれのある場合は、同等機器に無償で交換すること。
- ⑪機器障害時は障害受付から 4 時間以内に対応を開始し、復旧作業開始時間、作業方法などを協議し、当日中に作業を完了させるものとする。また、24 時間以内に復旧に至らない場合は、代替機の提供等による対応を行う。
- ⑫本システムの簡易な設定変更、改修等が必要な場合は、これに対応すること。
※ただし、納品物の検収完了日から 1 年以内に発見されたシステムの不具合（バグ等）の修正については、本項の改修等とは別に、無償で対応すること。

7 ライセンス要件

- ① システムの稼動に必要なソフトウェアのライセンス取得に係る費用は、全て導入経費に含まれるものとする。
- ② 登録数が増えても追加料金がかからない無料ライセンスのデータベースにすること。

※ 各要件について、カスタマイズ等に対応、対応不可等を提案書に明記し、カスタマイズ等に対応する場合は、その実現方法等を記載してください。ただし、標準機能で対応できる場合、記載は不要です。

7 見積作成項目

(1) 雇用システム作成

- ①設計・プロジェクト管理
- ②システム構築
- ③システム・クラウド・セキュリティに係る初期費用
- ④労働局提出書類直接発行機能

(2) ホームページ作成

- ①設計・プロジェクト管理
- ②システム構築
- ③システム・クラウド・セキュリティに係る初期費用

(3) メールサーバ作成

- ①設計・プロジェクト管理
- ②システム構築
- ③システム・クラウド・セキュリティに係る初期費用

(4) 調達機器に係る費用

※各経費は税抜き価格とし、別途消費税額を併記すること

※システムの稼動に必要なソフトウェアのライセンス取得に係る費用は、③システム・クラウド・セキュリティに係る初期費用に含まれるものとする。

その他（※別途依頼）

①ランニングコスト費用（2年目以降の年間費用）を別途提出

システム・クラウド・セキュリティに係る年間費用を詳細に記入（ドメイン・サーバ代等）

②運用サポート・保守費用（2年目以降の年間費用）を別途提出

※各経費は税抜き価格とし、別途消費税額を併記すること

別紙 1

調達機器品目一覧

項番	品名	想定数量	納入箇所
1	ファイアウォール	1	就活支援センター
2	スイッチ	1	就活支援センター

基本要件

- ① 設置機器のサイズは、納入先の環境を考慮の上選定すること
- ② 信頼性および実績のあるメーカーを使用すること
- ③ 本要件に疑義が生じた場合または変更を必要とする場合は、事前に協議し承認を得なければならない
- ④ 機器メーカー保守(先出センドバック等)は、5年一括で調達すること、また委託先オンサイト業務対応・設定復元作業を行うこと
- ⑤ ウィルス対策ソフトは調達範囲に含まない
- ⑥ 設置・システム設計まで行う事 (PC 7 台分)

機能要件

ファイアウォール

項番	仕様
1	ハードウェアとソフトウェアが一体となった統合ネットワークセキュリティアプライアンスであること
2	次世代ファイアウォール装置は、専用の ASIC を搭載し、CPU の負荷を軽減して高速処理を実現できるアーキテクチャであること
3	設定やファームウェアを起動時に USB メモリから読み込めるよう、USB A ポートを 1 つ以上保有すること
4	10/100/1000BASE-T のポートを 5 ポート以上有していること
5	IPsec VPN スループットは AES 256、SHA-256 を使い、512byte で 4.4Gbps 以上であること
6	仮想 UTM 機能を追加ライセンス無しの標準で、10 まで構成できること。最大値が異なる場合、最大値も示すこと
7	Active/Passive、Active/Active 両方の冗長構成に対応していること
8	仮想 UTM (VDM) ごとにプライマリハードウェアを選択することで、Active/Active 構成が取れること

9	SD-WAN 機能により、複数インターフェースのバンド幅、通信量、セッションに基づく WAN 最適化を行えること
10	80,000 以上のポットネット C&C ドメインの FQDN 情報を有し、ファイアウォールのポリシーで有効/無効に設定できること
11	次世代ファイアウォール装置上でログ閲覧が可能であり、ログ管理装置と連携した場合は、次世代ファイアウォール装置の WebUI でログ管理装置で収集されているログを閲覧できること
12	ファブリックコネクタで、Cisco ACI、Google Cloud Platform、Microsoft Azure、Nuage Virtualized Services Platform、OpenStack (Horizon)、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)、VMware NSX、AWS との SDN 連携が可能なこと
13	追加ライセンス無しで、ファイアウォールの管理画面よりスイッチと AP を一元管理（接続状態の可視化）し、網トポロジーの論理構成図と物理構成図を自動出力できること。
14	設定内容をバックアップし、障害発生時に迅速な復元が可能なこと
15	UTM の機能としてアンチウイルス、IPS、Web フィルタ、アンチスパムの機能を有していること
16	脅威保護(ファイアウォール、IPS、アプリケーション制御、アンチウイルス有効時) スループットは、混合テストかつログ有効時で 600 Mbps 以上であること
17	SSL インспекションのスループットは HTTPS を利用し、IPS を実施した際の平均値が 310 Mbps 以上であること。
18	ファイアウォールのポリシー毎にアンチウイルス、Web フィルタ、DNS フィルタ、アプリケーションコントロール、IPS、SSL インспекション機能の有効/無効設定が可能なこと
19	6400 種類以上のアプリケーションをポート番号に関わらず識別して可視化できること
20	19500 以上の IPS シグネチャを有すること
21	Web フィルタリング機能は、92 以上のカテゴリーに分類されて、クラウドクエリを行って最新の URL 情報に基づくフィルタリング機能を提供できること
22	アンチウイルス機能に未知のファイルを仮想 OS 環境で実行する Cloud Sandbox 検査機能が含まれていること
23	不正なデバイスに対して管理者が隔離を実施できること。スイッチのコントローラ機能を有効化している場合は、Mac アドレスレベルの隔離をスイッチで行えること

スイッチ

項番	仕様
1	装置のログを syslog サーバや指定したアドレスに送信する機能を有すること
2	10/100/1000BASE-T のインタフェースを必要数以上有すること
3	VLAN トランッキング・プロトコル機能を有すること
4	VLAN ID は 4,094 以上を利用可能なこと
5	リンクアグリゲーション（IEEE802.3ad 準拠/static）が利用可能なこと

金武町就活支援センター「雇用システム・Web 環境」導入業務委託 仕様書

6	IEEE802.1X(TLS、PEAP、MD5)、MAC アドレス認証機能を有すること
7	ループ検知機能を有すること
8	TELNET または SSH によるリモートログイン機能を有し、リモートからの機器管理や設定変更が可能なこと
9	SNMP、NTP に対応していること